

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2024/12/6

■ID: A23216

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: オーストラリア国立大学(ANU)

■留学期間/Program period (yyyy/mm/dd): 2024/2/12 ~ 2024/11/16

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 法学部第二類

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 学部3年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

大学入学前より留学には行ってみたいと考えていた。2年生の時に進学選択も終わり所属する学部が決定した段階では英語の資格試験の対策をしていなかったため、半年間勉強をし3年生の時に春募集で出願しようと考えた。留学すると1年卒業が遅れる事が最大の懸念であり、資格試験の勉強との兼ね合いを考えると、留学するかどうか迷った。しかし周囲の社会人の方や、教授に人生設計や進路に関して相談し、留学に行くことにより得られるものの方が多いと考え、留学に行くことを決めた。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2024年/Academic year / 学部3年/University year / A2学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2025年/Academic year / 学部4年/University year / S1学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

交換留学の募集で、1年間の派遣が可能なのが春募集だったから。。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

Security Concepts in the Asia-Pacific/6

Australia and Security in the Pacific Islands/6

Modern Chinese 5/6Issues in International Political Economy/6

Australian National Internship Program A/6Australia's Security in the Asian Century/6

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

授業は2時間の講義と、1時間のチュートリアルというものでひとつの授業です。チュートリアルとは日本でいうゼミに近い形式で、チューターという人がリードして生徒が授業内容に関してディスカッションを行う

授業です。講義は全て録画が提供され、字幕もつける事ができるので学習はしやすいです。予習のスタイルとして、全授業で数本の論文を読むことが求められています。

■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester:

1～3 科目/Subjects / 11～20 単位/credits 以上

■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week:

6～10 時間/hours

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research:

スポーツ, インターンシップ

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research:

授業の一環として、大学内の研究機関でインターンシップを1セメスター行いました。

■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations?:

週末は授業の予習復習や、個人的な勉強に充てていました。また、キャンベラは自然が豊かなので山登りに行ったり、サイクリングをしたりしました。長期休暇ではニュージーランドや太平洋の島国、東南アジアに旅行したり、東大より派遣されたプログラムに参加したりしました。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities:

図書館はキャンパス内にいくつかあり、その日の気分や近さで日々違うものを利用していました。大学内に大学運営のジムと外部の会社が運営しているジムの二つがあり、私は大学運営のジムを利用していました。大学運営のものは月々6,000 円で、外部運営のものは月々10,000 円近くしたと思います。食堂はなく、その代わりにキャンパス内にレストランがいくつかありますが、寮で食事が出る場合はほとんど使わないと思います。キャンパス内には wifi が飛んでおり、日常生活のほとんどをキャンパス内で過ごすので携帯会社のデータ通信は月々8GB のもので十分でした。

■ サポート体制/Support for students:

語学面に関しては、非英語ネイティブの学生は 1 年目である時に限り定期試験で試験時間を現地の学生より長く貰えると聞いた事があります。その制度は使用していないので定かではないですが。精神面や生活面に関しては、大学がかなり配慮してくれ、いつでもメンタルヘルスや生活の困り事などを相談する場所があったと思います。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation:

学生寮

■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it:

オーストラリア国立大学は、留学生を優先して寮に入れてくれます。寮はほとんどがキャンパス内にあり、教室まで徒歩で行けます。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc.:

滞在先のキャンベラは内陸の盆地かつ標高も 500m ほどと高いので、冬は朝晩0度に達する日もしばしば

でした。ですが寮は暖房が常に効いており、寮の中は半袖で過ごせるくらいでした。

■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :

海外送金は wise というアプリが、日本の銀行を通じて海外送金を行うより手数料が安かったです。オーストラリアは入国して一定の期限内なら銀行口座開設の手続きがスムーズに行えるので、留学先到着後にすぐ口座開設に行くことをお勧めします。また、オーストラリア社会はクレジットカード社会で、ほとんどの決済がクレカタッチでした。そのため現地の銀行のデビットカードを日々の決済に用いていました。

■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :

政府機関の街であるキャンベラは治安が非常に良く、深夜に一人で歩いても全く不安を感じません。医療事情としては、医師の診察は予約制であり、予約が取れない時は公立の病院の walk-in 診察に行く必要があります。ですがこれはかなり順番待ちが発生します。予約は取りづらいですが、大学内に学生は無料で診てもらえるクリニックがあります。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :

英語の指示を読むのが億劫で、student portal の登録などの諸手続きを留学直前まで行なっていませんでした。直前になるとかなり焦るので、早めに取り組むことをお勧めします。

■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

ビザ手続きは難しくないですが、GTE (Genuine Temporary Entrant) という「なぜオーストラリアで学びたいか」という、学生ビザ取得のための作文を提出する必要があります。ビザはすぐ降りました。

■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

オーストラリアは日本と同じような衛生状態と聞いていたため、予防接種等のために病院へ行くことはしませんでした。

■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

東大指定の海外旅行保険に加入しましたが、留学先からも指定の保険に加入するように指示があり、二重に加入せざるを得ない状態となっていました。

■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

A セメスターの定期試験を全て受け終わってから留学に出発しました。

■ 語学関係の準備/Language preparation :

出発前の語学レベルは IELTS 7.0 程度でしたが、IELTS のスコアを満たした後は特に語学学習をする必要はありませんでした。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■ 参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費/Airfare	140,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	13,000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	80,000 円/JPY

保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	90,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :	
家賃/Rent	200,000 円/JPY
食費/Food	3,000 円/JPY
交通費/Transportation	0 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	3,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	
寮費に日々の食事が含まれているため、食費の 3000 円は外食です。	

■留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :	
受給した	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
JASSO	
■受給金額(月額)/Monthly stipend :	
70,000 円	
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	
大学(本部)からの紹介	

今後の予定について/About your future plans

■留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :	
Security Concepts in the Asia-Pacific/6 Australia and Security in the Pacific Islands/6 Modern Chinese 5/6 Issues in International Political Economy/6 Australian National Internship Program A/6	
■留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :	
48 単位/credit(s)	
■留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo :	
10 単位/credit(s)	
■これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return :	
22 単位/credit(s)	
■卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation (yyyy/mm) :	

2026 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :

海外で生活をしたことのない私にとって留学をする意義は、自分のこれまでの世界から飛び出して、新たな挑戦をすることだと思います。日本ではマジョリティだった自分も、海外では英語も達者ではないマイノリティになるという経験は最初は強く衝撃を受けました。ただその分、助けてくれたり気にかけてくれる友人のありがたみを実感しました。また、IELTS7.0 レベルの英語力があつたとはいえ、オーストラリアに来た当初は会話では全く通用しませんでした。コミュニケーションがうまく取れず現地の学生に全く相手にされない経験もしましたが、そこで萎縮して自分の殻に閉じこもっては逆効果だと考え、逆に積極的にコミュニケーションを取るよう心がけました。また、私の住んでいた寮は現地の学生が 9 割という寮だったので、オーストラリア人の友人を作るよう心がけました。彼らと日々食事や余暇などの行動を共にし、その過程で現地の習慣や考え方、英語の単語のニュアンスの違いなど幅広く質問する事ができました。

■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :

キャンベラは政府機関の街ということもあり、日本からも国家公務員や研究員の方が大学や日本大使館にいらっしゃいます。そのため日本ではあまりお会いする機会のない方々ともお話しすることができ、グローバルに働くことや進路に関しての考えが深まりました。

■ 留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :

春募集で 1 年間留学に行く場合のデメリットとして、企業がインターンを開催する夏-秋は授業とかぶっているためオンライン開催のインターンも参加する事ができないことだと思います。しかし、企業が採用活動のためにキャンパスに来て採用イベントを開催し、海外大生選考を受けることもできます。就職活動へのメリットは、留学を通して経験したことや考えたことが面接などで高く評価してもらえることや、交換留学生を採用対象としている企業は少ないですがボストンキャリアフォーラムに参加できることだと思います。

■ 留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :

学外の就職活動イベントに参加した、社会人との接点をもつように心がけた。

■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :

専門職(法曹・医師・会計士等), 民間企業

■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

留学はかなり勇気がいることだと思いますが、行ってみたら楽しく、大きな学びになります！特に日本以外の社会を知ることで日本を相対化でき、良さも悪さも考える良い機会になると思います。

■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :

特にありません。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2024/12/8

■ID: A23217

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: オーストラリア国立大学(ANU)

■留学期間/Program period (yyyy/mm/dd): 2024/2/12 ~ 2024/11/16

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 経済学部経営学科

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 学部3年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

大学に入る前からいつか留学したいと思っていました。海外に住める機会は本当に貴重ですし、大学生という立場で住むからこそ得られるものがあります。交換留学という機会があるなら活用するしかないと思っていました。サークル活動もやり切りたかったため、3年生の秋から行くことは諦め、引退後の2月から行けるオーストラリアを選びました。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2023年/Academic year / 学部3年/University year / A2学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2025年/Academic year / 学部5年/University year / S1学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

大学生活を捧げていたサークルを3年生の12月で引退してから留学に行きたかったからです。。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

- ・BUSI2024 Dynamics of Business in the Middle East/6
- ・ANTH2129 Crossing Borders: Migration, Identity and Livelihood/6
- ・ANTH2009 Culture and Development/6
- ・ASIA1025 Asia and the Pacific: Power, diversity and change/6
- ・BUSI2023 Dynamics of Asian Business/6・ASIA2067 Asian Economies/6
- ・ASIA2302 Culture and Modernity in Asia: Anthropological Perspectives/6
- ・ANTH3059 Doing Ethnography: Practicum in Applied Anthropology/6

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

各授業につき lecture 2 時間、tutorial 1 時間、事前 reading 課題 40 ページずつ程度ありました。Anthropology(文化人類学)の面白さに目覚め、元から興味があった経済/ビジネスについて、個人の視点に注目しながら学びを深めました。Anthropology の切り口から学ぶ移民の授業、実際にフィールドワークをする授業、中東のビジネスについての授業が特に面白かったです。
■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :
4~6 科目/Subjects / 21 以上単位/credits 以上
■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :
21 時間以上/hours
■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :
スポーツ, 文化活動, アルバイト
■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :
ラーメン屋さん、日本語教師、大使館での選挙手伝いのアルバイトをしました。また、日本人コミュニティで毎週テニスをしました。テニスができるメンバーを常に募集しているので、テニス経験のある方はぜひ連絡してください。
■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :
週末は友達と勉強する、遊びに行く、という過ごし方をしていました。長期休暇は、1000km 以上を 1 日でドライブするロードトリップ(片道 18 時間以上)、work away というシステムを使ってオーストラリアの田舎にホームステイ、インドの友達の家を訪問、マレーシア旅行などに行きました。オーストラリア国内も、ウルル、シドニー、メルボルン、アデレード、ケアンズなどに行きました。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities :
図書館は 24 時間空いているものを含み 5 つほどあります。ジムやプールもあります。食堂はありませんが、オンキャンパスにレストランがいくつかあります。
■ サポート体制/Support for students :
ANU チームのサポート、日本人コミュニティのサポートどちらもとても充実しています。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :
学生寮
■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :
Wright Hall というオンキャンパスの学生寮に住んでいました。ANU 生は基本オンキャンパスの寮に住んでおり、それぞれにカラーがあります。それぞれの設備については HP から確認できます。ANU は池田先生というキャンペラ在住 50 年の先生を中心に、日本人の強いコミュニティがあります。渡航前から過去の交換留学生を交えて集まったり、オンラインでの情報交換会があったり、東京と大阪で ANU 同窓会があったりします。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. : 一年を通して快晴が多く美しい過ごしやすい気候でした。キャンベラは治安が良く落ち着いた計画都市で、安心して暮らせます。オンキャンパスに住んでいる場合は生活は徒歩圏で完結します。遠出する際はバスやトラムを使うほか、車を持っている友達に乘せてもらうことが多かったです。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy : 現地で Westpac の銀行口座を開設しました。電話番号とパスポートがあれば簡単に開設できます。WISE で換金して送金していました。また、現金は基本的に使わず、銀行のデビットカードをスマホに入れてタッチ決済で暮らしていました。
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health : 治安について心配することはありません。また、病院についても池田先生に連絡すれば 24 時間いつでも連れて行ってくれます。何か困ったことがあればいつでも池田先生をはじめとする日本人コミュニティの方に助けを求められるので安心でした。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution : ANU から送られてくる案内に沿って、OSHC というオーストラリアの留学生が加入を義務付けられている保険に入ります。900 ドルくらい支払って手続きが終わると、正式に入学が認められます。この保険は、最初の申し込み時には、実際に必要以上の期間分お金を支払わされるため、後から refund を請求することができます。また、ANU からの入学手続きが完了する前から寮に申し込むことができます。早い方が希望が通る可能性があるため、正式な受け入れ許可より前から寮に申し込むことをおすすめします。
■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas : Certification of Enrolment が来てから Student Visa (subclass 500) に申し込みます。申請完了後 2 分でビザがおりました。
■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health : 歯科検診に行きました。渡航 1 週間前に親知らずが生えてきて、出発数日前に抜歯しました。日本でできる治療はできるだけ日本でしてから行けると安心です。
■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance : 東大から指定の保険、オーストラリアでの OSHC の両方に加盟しました。
■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo : 留学担当の方に相談し、留意事項のメールを受け取りました。
■ 語学関係の準備/Language preparation : 日常会話は問題なくできる英語レベルでした (IELTS7.5)。留学前から、東大に來ている交換留学生と仲良くし英語でコミュニケーションをとっていました。留学開始後は、スラングやカジュアルな英語に慣れるのに時間がかかったため、英語のドラマや映画を見ることをおすすめします。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■ 参加するために要した費用/Expenses of participation :	
航空費/Airfare	200,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment	0 円/JPY

to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	
教科書代・書籍代/Textbook / Book	0 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	88,000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	100,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	
ビザ 7 万円、東京大学指定の OSSMA3 万円	

■留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :	
家賃/Rent	200,000 円/JPY
食費/Food	0 円/JPY
交通費/Transportation	0 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	20,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	
食事付きの寮に住んでいたため、寮費に日々の食費が含まれていました。	

■留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :	
受給した	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
JASSO	
■受給金額(月額)/Monthly stipend :	
70,000 円	
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
渡航支援金を 13 万円いただきました。	
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	
大学(本部)からの紹介	

今後の予定について/About your future plans

■留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定の)もの/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :	
・BUSI2024 Dynamics of Business in the Middle East/6 ・ANTH2129 Crossing Borders: Migration, Identity and Livelihood/6 ・ANTH2009 Culture and Development/6 ・BUSI2023 Dynamics of Asian Business/6 ・ASIA2067 Asian Economies/6 ・ASIA2302 Culture and Modernity in Asia: Anthropological Perspectives/6 ・ANTH3059 Doing Ethnography: Practicum in Applied Anthropology/6	
■留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :	
122 単位/credit(s)	

■ 留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo:
14 単位/credit(s)
■これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return:
20 単位/credit(s)
■卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation (yyyy/mm):
2026 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts:
日本の当たり前を見直せる環境で 10 ヶ月を過ごせたことで、これまでの人生にない成長をすることができました。異なる文化を知る、不自由なく英語が話せるようになる、などといったことだけでなく、時間の使い方、生きる上で大切にすること、などについても新たな考えを得ました。留学は、間違いなく人生が変わった経験で、これからの人生においても大きな意味を持つと思います。
■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting:
日本を外から見たことで改めて、日本が好き、日本に貢献したいという思いが強まりました。将来は世界を舞台に、日本のためになる仕事、日本の良さを世界に広げられる仕事をしたいです。
■ 留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting:
キャンベラの日本人コミュニティが強いため、大使館の方、商社の方、省庁から国費留学で大学院に来ている方、現地で就職して働いている方などたくさんの方のライフストーリーを伺うことができました。多くの方のお話を伺い、キャリアのアドバイスをいただいたことで多くの学びを得ました。デメリットは特にありません。
■ 留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad:
学外の就職活動イベントに参加した, 学会・セミナーに参加した, 社会人との接点をもつように心がけた, 留学先から日本の新卒採用・インターンシップなどに応募・受験した
■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned):
民間企業 総合商社で働きたいと思っています。
■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants:
留学に行くにあたり、もっともらしい理由はなくても良いと思います。「カッコいいから」「海外に住んでみたいから」というきっかけで構わないので、挑戦してみてください。学生という肩書きのない立場で世界中の様々な価値観を持つ人と人間関係を築けた経験は、何事にも変え難いです。この機会をいただけたことに改めて感謝の気持ちでいっぱいです。旅行ではなく留学でしかできないことを優先しようという気持ちで 10 ヶ月を過ごしたことも良かったです。キャンベラは“留学”にはぴったりでした。また、私は留学中に学んだこと・考えたことを記録し発信しました。言語化しようと心がけながら過ごすことでより多くの学びを得られます。他の地域に留学している友人からのコメントも新たな洞察をもたらしてくれました。成長が見られて面白いので、記録することをおすすめします。留学は、かけがえのないチャンスです。もし、少しでも行ける可能性があるなら、せっかくの機会を最大限活かしてみたいはかがでしょうか。

■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :

ゼミの先生から、留学前に奈倉有里さんの『夕暮れに夜明けの歌を』を読むことを薦められました。留学中の過ごし方のヒントになりました。また、友人に紹介されたこの note の記事も、気が引き締まりました。

https://note.com/yukihiromurata/n/ne844378f8bc9?sub_rt=share_b

留学に行かせていただけるということの意味を考えて過ごすことは大切だと思います。